

令和5年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

【施設概要】

施設名称	上田市塩田デイサービスセンター					
指定管理者名	信州うえだ農業協同組合	料金制導入区分	利用料金			
指定管理期間	令和3年4月1日 ～ 令和6年3月31日 (3年間)					
施設所管課	福祉部	高齢者介護課				
設置目的	在宅の要援護高齢者及び要援護となるおそれのある高齢者等の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに家族の負担軽減を図る					
指定管理者が行う業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ センターの利用許可に関する業務 ・ センターの施設、設備等の維持管理に関する業務 					
管理業務 の状況	作業項目	作業内容	回数	実施日	実施状況	
	清掃	館内清掃	1日1回	営業日	職員が実施	
	消防設備点検	有資格者による点検	年2回	5月・10月	専門業者に委託	
	日常定期点検	電気設備・給排水・冷暖房の点検	1日1回	営業日	職員が実施	
	ボイラー点検	定期点検	年2回	8月・2月	専門業者に委託	
	定期清掃	専門業者による館内床清掃	年1回	12月	専門業者に委託	
職員の 配置状況	役職等(職務内容)			計画	実績	
	センター長(業務統括)			1人	1人	
	管理者(相談、介護、統括)			1人	1人	
	生活相談員(相談・介護)			2人	2人	
	看護員職員(健康管理・機能訓練)			3人	2人	
	介護職員(介護)			6人	5人	
	機能訓練指導員(介護・機能訓練)			1人	1人	
	調理員(調理)			2人	2人	
	送迎(送迎)			3人	3人	
施設の 利用状況	利用区分等	設定目標値	R5年度実績	達成率	R4年度実績	前年度比
	デイサービス利用者	6,000人	5,031人	83.9%	5,573人	90.3%
		人	人	%	人	%
		人	人	%	人	%
		人	人	%	人	%
	開館日数	310日	延べ利用者数 (R5)	5,031人	一日あたり 利用者数	16人
	(施設所管課による評価) ・感染症対策を徹底しながら、利用促進を図った。					
自主事業 の状況	事業・イベント名(内容)			開催日時	参加者数	
	(施設所管課による評価)					

【収入・支出の状況】

(金額単位:円)※ 消費税額含む

		項目	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	令和5年度 決算額	備考
指定管理者	指定管理業務	収入					
		介護保険収入	58,866,304	45,210,084	44,540,000	40,467,143	
		本人負担利用料収入	6,686,343	5,340,696	5,224,000	4,799,513	
		保険外利用料等収入	4,515,966	3,966,192	4,344,000	3,560,534	
		その他事業収入	1,091,000	519,625	0	720,000	
		計	71,159,613	55,036,597	54,108,000	49,547,190	
	支出						
	人件費	52,648,425	40,430,807	39,460,000	38,658,920		
	事業管理費	12,991,968	12,741,800	11,106,000	12,024,572		
	介護保険事業費用	2,855,373	2,488,679	3,239,000	2,366,483		
	その他	2,754,214	1,800,000	1,950,000	1,568,096		
	計	71,249,980	57,461,286	55,755,000	54,618,071		
	差引	△ 90,367	△ 2,424,689	△ 1,647,000	△ 5,070,881		
	自主事業	収入					
計		0	0	0	0		
支出							
計		0	0	0	0		
差引		0	0	0	0		
市		歳入					
	計	0	0	0	0		
	歳出						
	工事費	575,476	1,298,000	0	0		
	計	575,476	1,298,000	0	0		
	差引	△ 575,476	△ 1,298,000	0	0		
総合計			△ 665,843	△ 3,722,689	△ 1,647,000	△ 5,070,881	

【施設所管課による評価】(全施設共通評価項目)

	評価項目	判断基準	評価
施設管理	施設の運営・清掃の状況	事業計画等に基づき、施設運営に必要な人員と有資格者が配置されているか。責任者や指揮命令系統は明確か。	○
		条例に基づく「開館(場)時間」や「休館(場)日」が遵守されているか。	○
		事業計画等に基づき、利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているかどうか。	○
	光熱水費・環境への配慮の状況	施設の利用状況等に応じて、適切な使用量となっているか。(※電気・ガス・水道・燃料の使用がない施設は評価対象外)	○
		省エネ、温室効果ガス削減やごみの減量化・分別を行っているか。	○
	設備・備品の保守・管理状況	消防設備は法令等に基づき点検が行われているか。避難経路に障害物はないか。(※消防設備が不要な施設は評価対象外)	○
		事業計画等に基づき、施設や設備の点検、必要な修繕が適切に行われているか。	○
		備品に過不足がなく、適切に管理されているか。	○
事務手続きの状況	第三者への業務委託は適正に行われているか。	○	
	条例や基本協定書に規定する事業計画書や事業報告書等の書類が遅滞なく提出されているか。また、内容は適切か。	○	
財務状況	収入の状況 (※無料施設は評価対象外)	収支予算に基づき、必要な収入が確保されているか。	○
		収入増に向けて、PR等の取組が行われているか。	○
		料金の徴収や減免等の手続きが適切に行われているか。	○
	支出の状況	収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか。施設運営に不要な経費の支出がないか。	○
	経理事務・帳票類の保管等	経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか。 管理費用の執行状況は適正か。	○ ○
安全対策・危機管理	個人情報の保護・施設管理上の秘密の保持等	利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか。	○
		施設や金庫等の鍵・暗証番号等、施設管理上の秘密の管理者や管理方法が明確であり、適切に管理されているか。	○
	利用者の安全対策・緊急時の対応	緊急・災害時の対応マニュアルや連絡体制が整備されるとともに、避難訓練等、必要な取組みが行なわれているか。	○
		危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか。	○
		管理業務仕様書と基本協定書で指定する施設賠償責任保険に加入しているか。(※加入不要な施設は評価対象外)	○
利用者サービス	利用者サービス向上の取組	アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか。	○
		対応する職員によって提供するサービスに差が生じないように、職員に対する研修等、適切な対応が行われているか。	○
	施設利用者への対応	利用者が気持ちよく利用できるよう、接客マナーや施設利用に係るサービスは適切であるか。	◎
		特定の利用者を優遇したり、利用を制限していないか。	○
従業員の労働条件	労働条件の明示、帳簿類の整備等	労働契約書(労働条件通知書)が適正に整備されているか。	○
		法定三帳簿(労働者名簿、出勤簿、賃金台帳)が適正に整備されているか。	○
		就業規則が適正に整備されているか。	○
		36協定が適正に締結されているか。	○
	労働条件の内容	労働時間の管理は適正か。	○
		賃金の管理は適正か。	○
		年次有給休暇の運用・管理は適正か。	○
	各種保険・安全衛生	社会保険・労働保険に加入しているか。	○
安全衛生の管理体制は適正か。		○	
個別事項			
(施設所管課の評価)※「△」や「×」の評価がある場合は、改善対応を記載			

【指定管理者による自己評価】(セルフモニタリング)

(1)令和5年度(令和5年4月1日～令和6年3月31日)の取り組みに対する評価

①利用者増加・利用者サービス向上への取り組み

- ・個別機能訓練の充実のため、鹿教湯病院の訪問リハビリと連携し、定期的なリハビリの指導を受けて、職員の資質の向上等を図った。
- ・毎月のデイサービス全体会議のほかに、認知症や感染症対策など介護職員向け研修会を9回開催し、質の向上などに努めた(動画配信サービス利用)。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、引き続き利用者及び施設スタッフなどのマスク着用や検温、手洗い・手指消毒などの徹底。定期的な換気のほか、施設内・送迎車内の消毒等に努めた。
- ・新型コロナウイルス5類移行に伴い、季節ごとの各種イベントなどを再開。感染対策を十分にとった上で、ボランティアなどによる音楽演奏・踊りなどを、ほぼコロナ以前の規模で再開できた。
- ・年1回利用者アンケートを行い、要望・感想などの収集・反映に努めた。

②経費節減に対する取り組み

- ・生活相談員などスタッフの体制・業務分担等の見直や専用記録用紙の作成、おしぼり機の導入などにより、作業の効率化・残業等の削減を図った。
- ・休憩時など使用していない部屋などは消灯し、給油の際は「カー得デイ」を利用するなど、費用の圧縮等に取り組んだ。
- ・ガソリン代など価格高騰に伴い、県の価格高騰支援金を利用して物価高対策に努めた。

③その他

- ・施設の花壇に季節の花木を植え、草刈り・樹木の剪定・整備等を行い、利用者のほか地域の方にも、花木など愛でられるよう景観美化等に努めた。

(2)指定管理業務実施上の課題

- ・令和5年度は新型コロナウイルスが5類移行に伴い、冬季などでの入院・入所が再開。想定以上に入院・入所者数が多く施設稼働率が低下し、介護報酬が大きく減少した。
- ・施設、営業車の老朽化などにより、継続的な修繕・修理が必要となっている。

(3)次年度以降の取り組み

- ・鹿教湯病院に事業を引き継いでいただくことになった。

(4)その他

①利用者からの主な意見、苦情及び対応等

- ・デイサービスに通うようになり、生活に緊張感を持ち生活できるようになったとの声をいただいた。

②市からの改善指示に対する対応(※市から改善指示等があった場合のみ)